

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間

29,906

時間

雇用契約を締結していた延べ利用者数

6,415

人

利用者の1日の平均労働時間数

4.7

時間

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額

11,168,719

円

利用者に支払った賃金総額

22,743,719

円

収支

▲ 11,575,000

円

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額

16,084,412

円

利用者に支払った賃金総額

25,737,417

円

収支

▲ 9,653,005

円

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額

15,394,501

円

利用者に支払った賃金総額

27,912,244

円

収支

▲ 12,517,743

円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☐

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☒

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☒

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☒

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☐

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☒

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒
※研修名 障害者虐待防止法について
研修講師 田村佳介（認定心理士）
実施日・受講者数 3月13日 8人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☒
※研修、学会等名 企業と福祉の連携 ビジネスマッチングフェア2024
実施日 8月23日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ 事業所での施設外就労について

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒
※先進的事業者名 JMUビジネス・サポート株式会社
実施日/参加者数 3月4日 4人
※他の事業所名
実施日/参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ☒
※商談会等名 くまもと産業復興エキスポ2025
主催者名 熊本県
日時 2月20日
内容 日本経済復活のフロンティアとなった熊本への期待

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☒
◎当該人事評価制度を周知している ☒
人事評価制度の制定日 H31年4月1日
人事評価制度の対象職員数 7名
うち昇給・昇格を行った者 4名
当該人事評価制度の周知方法 社内掲示

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐
※配置期間 月 日～ 月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐
※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている ☐
※認証を受けた日 月 日
規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☒
※受理日 R6年8月10日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。